



令和4年度 下関市 市民実感調査

～皆さんのご意見を市の評価・取り組みに活かします～

アンケート調査へのご協力をお願いいたします

このアンケート調査は、『第2次下関市総合計画』に基づいて、暮らしやすく住みよいまちづくりを目指して取り組みを行っている福祉・教育・環境・産業などのさまざまな分野について、市民の皆さんがどのような実感をお持ちなのかをお聞きするものです。調査の結果は、第2次下関市総合計画の各分野における施策の成果を測る指標として活用し、今後の市政経営や行政サービスの向上につなげていきます。

より良いまちづくりを進める上での大切な調査となりますので、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

『第2次下関市総合計画』は、下関市ホームページでご覧いただけます。

(<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/>)

■調査について

- このアンケート調査は、18歳以上の市民の皆さんの中から無作為に抽出した2,500人の方を対象に調査票をお送りしています。
- 無記名でお答えいただき、すべて統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。
- この調査による集計結果は、第2次下関市総合計画の進捗管理や、今後の市政経営に活用します。

■ご記入に当たってのお願い

- このアンケートは、封筒の宛名となっている方がお答えください。
- 調査票や返信用封筒には、お名前や住所を記入していただく必要はありません。
- 回答をお願いする方は無作為に抽出していますので、市から電話や訪問等により個別にお問い合わせをすることは一切ありません。
- 回答は直接この調査票に記入いただく方法とWebで回答いただく方法があります。
- 直接この調査票に記入いただく場合は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに令和4年6月22日(水)までに郵便ポストに投函してください。
- Webで回答いただく場合は、以下のアドレスまたはQRコードからアクセスし、令和4年6月22日(水)までに回答してください。

<https://forms.gle/nHdLq36d85MXdfPK8>



■この調査に関するお問い合わせ先

〒750-8521 下関市南部町1番1号 市役所本庁舎5階
下関市総合政策部企画課

電話：083-231-1480 E-mail: sskikaku@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■調査の委託先

この調査は、株式会社 地域整備機構に委託して実施しています。

※このため、返信用封筒の宛先も株式会社 地域整備機構となっています。

このアンケートは、あなたが日常生活の中で、下関市の状況や取り組みについて感じたり、見聞きしたりする実感やイメージに基づいてお答えください。

質問は全部で31問ありますが、問1は☑を、問2からはそれぞれの選択肢の中からあてはまる番号を1つ選んで「○」印をつけてください。

《調査票》問1から順にお答えください。

問1 新型コロナウイルス感染症の影響に対して、どのような支援が必要であると感じますか。
(必要であると感じる施策に☑を入れてください。)

- 3密対策を実施したより快適な空間の創造
- 発熱外来ネットワークを整えるためのハード・ソフト両面からの投資
- キャッシュレス決済の普及推進及びデータの利活用
- 行政手続の徹底したオンライン化・電子処理化、ネット発信の強化
- 新型コロナ感染症等に対応した新たな災害対応スタイルの構築
- 地域の再エネ／分散型電源の活用による脱炭素化と強靱化
- 大胆な規制改革を伴う「コロナ対応型スーパーシティ」の前倒し実現
- RESASで地域経済を「見える化」、データに基づく施策立案を促進
- GIGAスクール構想の更なる加速・強化等による新たな時代に相応しい教育の実現
- オンライン診療・オンライン服薬指導を行うための支援
- MaaSなどを取り込んだ新たな地域交通体系の整備
- 地域の文化芸術・スポーツ・コンテンツビジネス等の創造発信
- 都市と地域の両方の良さを生かして働く・楽しむスタイルの開拓
- ひとり親家庭、単身高齢者等への新しいつながりの創出
- 強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働力確保
- 地域商社、観光地域づくり法人(DMO)、ローカルベンチャー等を通じ、ソーシャルデザインの力も生かした、地域経済力の強化
- 新技術を活用した地域内物流の効率化など物流基盤の整備
- 「新しい旅行スタイル」実現のため、宿泊、飲食、運送等のトータルな環境整備や新たなビジネス展開の促進
- 3密対策や新たな商品と連動した誘導型の商品券・旅行券の発行
- 地域牽引企業群の形成・事業再生等を通じた事業構造改革の徹底推進

問2 観光地の認知度は高まっていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問3 文化・芸術活動に関して、市民がかかわる創作活動、行事への参加、鑑賞等の機会があると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問4 あるかぼーとの開発やクルーズ客船受入など、みなとのにぎわいが創出されていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問5 国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問6 新たな農業・漁業の担い手の確保・育成や農林水産物のブランド化などの取組を推進していますが、農林水産業の振興に期待できると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問7 市内で雇用の機会が確保されていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問8 安心して、子どもを産み、育てることができるまちであると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問9 保護者が自信と責任をもって子どもを育て、地域の誰もが教育に参加でき、学校と家庭と地域住民が互いにかかわりあう社会になっていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問10 図書館や公民館、博物館などが充実し、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会があると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問11 子どもたち一人ひとりに「生き抜く力」が養われていると感じますか。
※「生き抜く力」とは、基礎的な知識・技能を習得し、自ら考え、判断し、表現することのできる力や他人を思いやる心、たくましく生きるための健やかな体を、バランスよく身につけることです。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問12 下関市立大学は、地元の公立大学として、市民公開講座の開催や学生の地元企業への就職、産学官連携など通じて、地域に貢献していると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問13 日常生活の中で「人権」を大切に、尊重しあう習慣が根付いていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問14 「男は仕事、女は家庭」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」など性別を理由として、役割を固定的に分けることにとられない考え方をもっていますか。

1. もっている 2. もっていない 3. どちらとも言えない

問15 限られた資源が大切にされていると感じますか。
※下関市では、ごみの減量化への取組として4Rを推進しています。4Rとは、Reduce(リデュース/減らす)・Reuse(リユース/再利用する)・Recycle(リサイクル/再生利用する)の3Rに、下関市独自の取り組みRefuse(リフューズ/断る)を加えたものです。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問16 あなたは、現住居に安心して住めると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問17 下関らしい豊かで潤いのある景観づくりが推進されていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問18 地域に応じた都市機能が充実し、まちの賑わいや魅力があると感じていますか。
※都市機能: 居住・商業・工業・公共公益機能など、都市的サービスを提供する機能。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問19 バイパス工事や改良工事などの道路整備が進み、安全・便利で快適な道路機能が構築されていると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問20 上下水道は、市民にとって安全で、いつでも安心な生活を営むために、寄与していると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問21 飲食店での食事、食品・生活用品、理・美容院や公衆浴場など、生活に必要な物や場所は、衛生的で安心して利用することができると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問22 高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問23 障害のある人が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問24 あなたは、健康であると実感していますか。

1. 実感している 2. 概ね実感 3. どちらとも言えない
4. あまり実感していない 5. 実感しない

問25 日常の暮らしの中で、相談できる人や場所がありますか。

1. ある 2. ない 3. どちらとも言えない

問26 地域福祉を担う組織や団体の取組みは充実し、安心して生活が送れると感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問27 市報やホームページなどの広報媒体によって、行政の情報が分かりやすく市民に伝わっていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. どちらとも言えない

問28 行政の電子化が進み、ホームページから行政情報を収集したり、公共施設の予約ができたりするなど、行政サービスが快適で、便利になったと感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問29 自治会活動や地域活動などを通じて、地域での支え合いを感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問30 人のつながりを大切にし、地域の力が活きる「住民自治によるまちづくり」(まちづくり協議会)の取組みが進んできたと感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

問31 まちづくり協議会への支援や地域づくりの人材育成などをはじめとする、地域のまちづくりを推進することは重要だと感じますか。

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらとも言えない

■ 最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。次の①から⑨までの各項目について、右欄の該当する番号を1つ選んで、その数字を○印で囲んでください。令和4年6月1日現在の状況でお答えください。

① あなたの性別は？	1. 男性 2. 女性 3. その他() 4. 答えたくない
② あなたの年齢は？	1. 20歳代以下(18歳～29歳) 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
③ あなたのお住まいの地域は？	1. 本庁管内(以下の2～8以外の地区) 2. 彦島地域(彦島支所管内) 3. 山陰地域(川中・安岡・吉見・勝山・内日支所管内) 4. 山陽地域(長府・王司・清末・小月・王喜・吉田支所管内) 5. 菊川地域(菊川総合支所管内) 6. 豊田地域(豊田総合支所管内) 7. 豊浦地域(豊浦総合支所管内) 8. 豊北地域(豊北総合支所管内)
④ あなたの職業は？	1. 農林水産業 2. 自営業 3. 会社員 4. 公務員 5. 団体職員 6. パート・アルバイト・派遣社員 7. 専業主婦・専業主夫 8. 学生 9. 無職 10. その他()
⑤ 下関市にお住まいになった経緯は？ ※ここで言う下関市は、旧豊浦郡を含む。	1. 生まれてからずっと下関市に住んでいる。 2. 山口県内の他市町から下関市に引っ越してきた。 3. 山口県外から下関市に引っ越してきた。➡ 都道府県名:
⑥ あなたの下関市での居住年数は？ ※合併前の旧1市4町での居住年数を含む。	1. 5年未満 2. 5～9年前 3. 10～19年前 4. 20年以上前
⑦ あなたは下関市の住み心地をどう思いますか？	1. 住みよい 2. まあ住みよい 3. どちらとも言えない 4. どちらかと言えば住みにくい 5. 住みにくい 6. 分からない
⑧ あなたは、これからも下関市に住み続けたいと思いますか？	1. 住み続ける 2. できれば住み続けたい 3. できれば転出したい 4. 転出する予定である
⑨ 住み続けたい理由、もしくは転出したい(する)理由は何ですか？(複数選択可)	1. まちへの愛着・自信・誇り・土地柄 2. 都市の魅力・センス・イメージ 3. 家業、親の介護などの家庭の事情 4. 働く場所(仕事) 5. 通勤・通学などの交通の便 6. 物価の水準などの暮らしやすさ 7. 地価などの住宅条件 8. 教育環境 9. 福祉(保育、子育て支援など) 10. 福祉(高齢者・障害者サービス) 11. 都市基盤(施設の充実) 12. 安全・安心(保健・医療) 13. 安全・安心(犯罪・災害) 14. 自然や食の豊かさ 15. その他()

<p>■現在、行政や民間事業者においてスマートフォンなどを活用した様々なサービスの提供を行っている中で、あなたが求める必要なサービスは何ですか？</p> <p>(視点)・本市に導入して欲しいサービス ・開発してほしい新しいサービス</p>	
---	--

<p>■下関市に住み続けるためには、何が必要と思いますか？ また、何を期待しますか？</p>	
--	--

■ ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和4年6月22日(水)までに郵便ポストに投函してください。

